

# 参考資料

---

- ・各対象施設等の概要
- ・対象施設の利用者との意見交換

# 各対象施設等の概要

---

# 旧上荻窪会議室跡地について

- 旧上荻窪会議室をはじめとした「区民事務所会議室」は出張所の廃止後、会議室部分を町会や青少年育成委員会等の地域団体の活動場所等として活用してきました。
- 施設の老朽化が進んでいること等もあり、町会や青少年育成委員会等の活動を継承するための代替施設を確保した上で、区民事務所会議室は段階的に廃止しています。



## 〈旧施設概要〉

所在地:上荻3-16-6

建築年度:昭和38年度(1963年度)

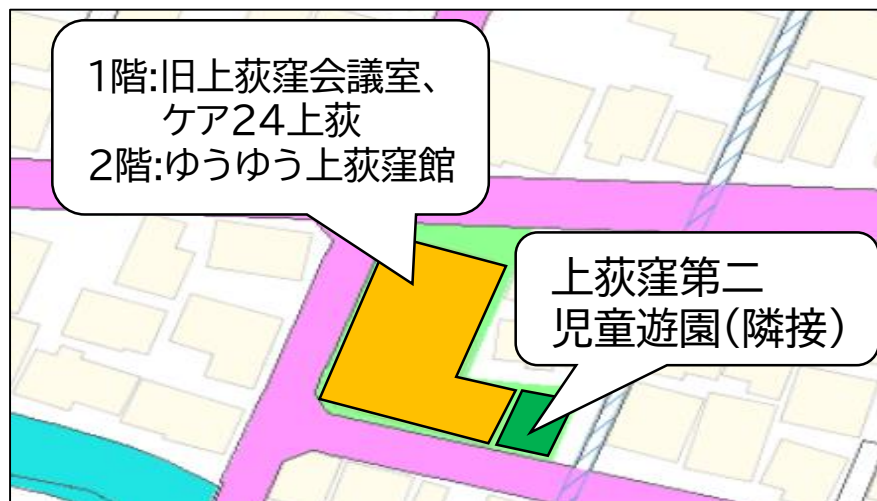
敷地面積:591.93㎡

延床面積:473.68㎡

施設構成:旧上荻窪会議室(201.72㎡)

ケア24上荻(89.61㎡)

ゆうゆう上荻窪館(182.35㎡)

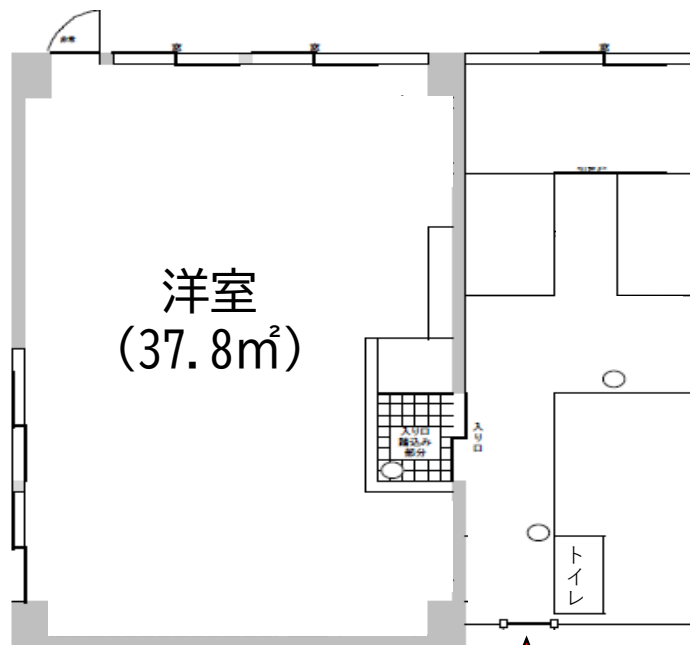


○令和4年12月をもって、旧上荻窪会議室は廃止し、ケア24上荻・ゆうゆう上荻窪館は杉並会館に暫定移転しました。

○建物は、老朽化が進んでいたことから解体しました。  
(令和6年(2024年)2月解体工事完了)

# 旧上荻窪会議室の概要

【平面図】



○稼働率

(令和元年度(2019年度))

施設全体	9~12時	13~15時	16~18時	19~21時
78%	92%	74%	67%	78%

(令和3年度(2021年度))

施設全体	9~12時	13~15時	16~18時	19~21時
57%	76%	66%	58%	26%

【写真(洋室)】



(参考)

区民事務所会議室全体:43.7%

(参考)

区民事務所会議室全体:27.3%

# ゆうゆう館とは①

○利用対象者:杉並区にお住まいの**60歳以上**の方々

○施設数:**27施設**(令和6年(2024年)4月1日時点)

※昭和38年(1963年)に上荻窪敬老会館を開設して以降、各地域に3~6か所(合計32館)の敬老会館(現ゆうゆう館)を設置してきました。

現在は、32館のうち、5館をコミュニティふらっとに機能継承しています。

○開館時間:午前9時~午後9時、(日曜日・祝日)午前9時~午後5時、(第3木曜日)午後1時~午後9時

○利用方法

①個人利用:一般和室または談話室・談話コーナーで、テレビ、囲碁、将棋などを自由に利用可能です。お一人でもご利用になれます。

②団体利用:趣味やいきがづくりなどの活動(※)に、洋室、和室、茶室、講座室、多目的室、ホールなどを利用できます。 ※コーラス、カラオケ、体操、書道、囲碁、輪投げなど

③目的外使用:空いている部屋がある場合は、一般の方も使用できます(要事前予約/有料)。

○実施事業(協働事業)

各ゆうゆう館の施設運営業務を担うNPO法人などの団体が、「いきが学び」、「ふれあい交流」、「健康づくり」などに関する講座・催しを実施しています。

事業により参加費がかかります。

一部を除き、高齢者に限らず参加できるので、多世代で楽しむことができます。

協働事業例:スマホ講座、囲碁、卓球、ヨガ、コーラスなど



# ゆうゆう館とは②

## ○施設の特徴

- ・築40年以上の施設が16館あり、施設の老朽化が進んでいます。
- ・他施設(特に保育園)との併設が多くみられます(保育園との併設:12館)。

## ○利用人数の推移等(ゆうゆう館全体) ※協働事業参加者等を含む (利用人数)

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
394,142人	184,956人	242,131人	263,188人	276,156人

## (年齢別利用者割合(令和5年(2023年)度) ※ゆうゆう今川館を除く、協働事業参加者等を含む)

60歳未満	60代	70代	80代	90歳以上
3.9%	7.8%	40.8%	41.9%	5.6%

## ○高齢者の区立施設の利用に関するアンケート(令和5年(2023年)6月実施)

(対象)無作為抽出した60歳以上の区民1,400人

(回答)462人/1,400人(回答率:33%)

(設問)趣味や学習、運動等の活動をどこの区立施設で行っているか。

ゆうゆう館	区民集会所、区民会館	コミュニティふらっと	その他区立施設	区立施設を利用していない
16.5%	10.0%	3.1%	20.2%	50.1%

## ○ゆうゆう館の抱えている課題

- ・夜間の利用率が低い施設がある など

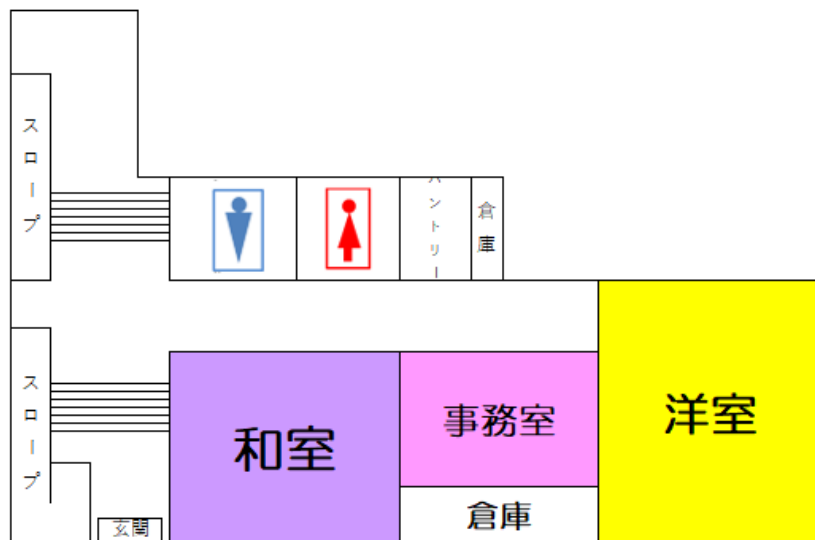
※利用率の向上に向けて、一般利用がしやすいようにさざんかねっとで施設予約ができるようにする予定

# ゆうゆう上荻窪館の概要①

○築年数、延床面積、部屋数 など

築年数	延床面積	和室	洋室	構造
57年	248.80㎡	44.9㎡	58.5㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置

○平面図

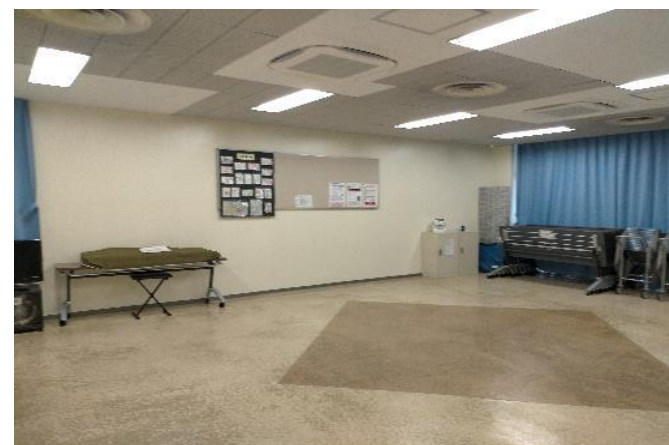


※移転前の面積 (延床)182.35㎡  
(洋室)54.6㎡  
(和室)29.4㎡

○和室



○洋室



※ゆうゆう上荻窪館は、杉並会館内に暫定的に移転しています

# ゆうゆう上荻窪館の概要②

○活動団体数:23団体(令和6年度(2024年度)上半期)  
 団体人数:210人(令和6年度(2024年度)上半期)

○利用者の傾向

・70代、80代の利用者が多い(令和5年度(2023年度))

60代	70代	80代	90歳以上
7.4%	44.4%	41.9%	5.6%

※小数点第3位四捨五入

・団体利用の登録者は周辺住民(※)が約41%となっている。  
 ※施設から半径500m圏内の丁目にお住まいの方

○稼働率(茶室等を除く)

(令和元年度(2019年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室	64%	90%	77%	45%
和室		55%	69%	43%

(参考)

ゆうゆう館全体稼働率  
 ⇒約58%(高齢者活動支援センターは含まず)

(令和4年度(2022年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室	56%	88%	79%	34%
和室		44%	69%	16%

(参考)

ゆうゆう館全体稼働率  
 ⇒約50%(高齢者活動支援センターは含まず)

○利用人数の推移(ゆうゆう上荻窪館) ※協働事業参加者等を含む

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
8,723人	4,159人	5,901人	7,085人	7,187人

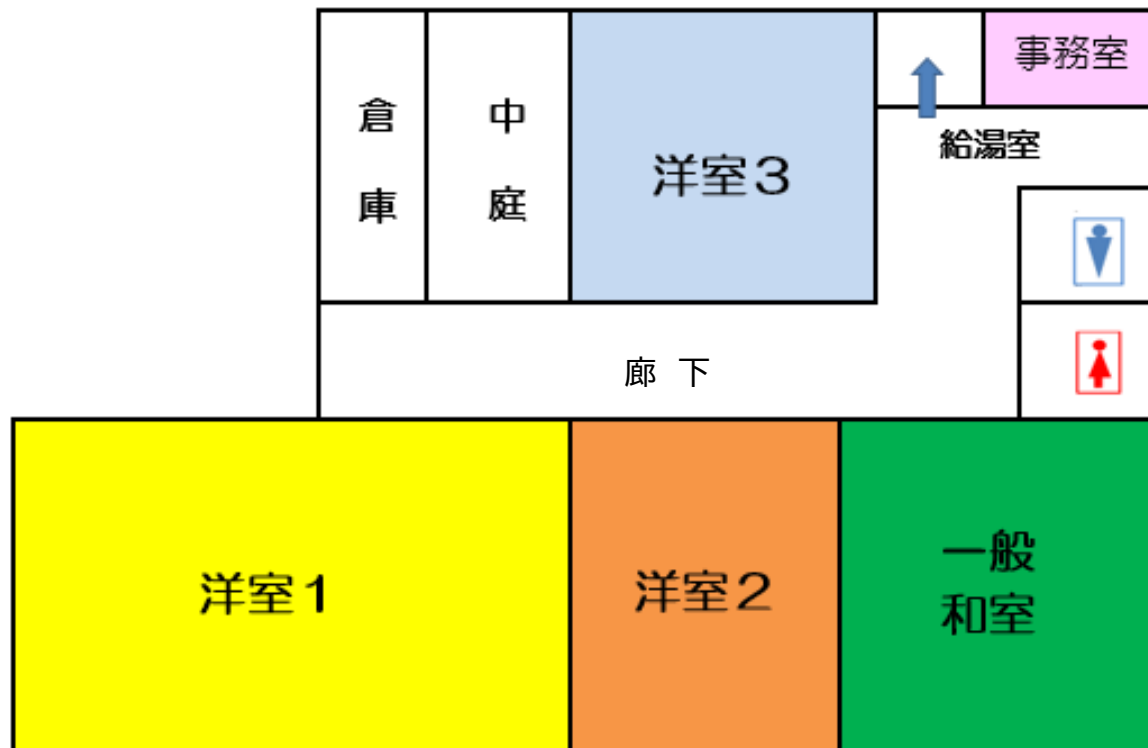


# ゆうゆう西荻北館の概要①

○築年数、延床面積、部屋数 など

築年数	延床面積	洋室1	洋室2	洋室3	構造
51年	229.77㎡	62.1㎡	23.8㎡	33.2㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置

○平面図



※ゆうゆう西荻北館は西荻北保育園と併設しています

# ゆうゆう西荻北館の概要②

○外観



○洋室1



○洋室2



○洋室3



# ゆうゆう西荻北館の概要③

○活動団体数:37団体(令和6年度(2024年度)上半期)  
 団体人数:391人(令和6年度(2024年度)上半期)

60代	70代	80代	90歳以上
11.5%	45.5%	36.7%	5.6%

※小数点第3位四捨五入

○利用者の傾向  
 ・70代、80代の利用者が多い(令和5年度(2023年度))  
 ・比較的最寄り駅から近いため、団体利用の登録者のうち、  
 周辺住民(※)が約35%にとどまっているが、区外の住民の登録もある。  
 ※施設から半径500m圏内の丁目にお住いの方

○稼働率(茶室等を除く) (令和元年度(2019年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	70%	80%	80%	58%
洋室2		75%	86%	47%
洋室3		77%	72%	41%

(参考)  
 ゆうゆう館全体稼働率  
 ⇒約58%(高齢者活動支援センターは含まず)

(令和4年度(2022年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	60%	66%	87%	53%
洋室2		64%	66%	48%
洋室3		72%	58%	16%

(参考)  
 ゆうゆう館全体稼働率  
 ⇒約50%(高齢者活動支援センターは含まず)

○利用人数の推移(ゆうゆう西荻北館) ※協働事業参加者等を含む

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
14,504人	7,187人	9,464人	11,068人	11,350人

# 西荻北保育園の概要①

## 【施設の情報】

築年数 : 51年

敷地面積: 1158.35㎡

延床面積: 648.65㎡

園庭面積: 345.24㎡

## 【定員数、在籍児童数】

定員数 : 86人

在籍児童数: 85人

※令和6年(2024年)4月時点  
在籍児童数は3・4月が少なく、  
12・1月に多くなる傾向にあります。

## 【西荻北保育園の特色】

○平成18年度(2006年度)より  
桃井第三小学校と連携事業(職員  
同士の交流や意見交換)を行って  
います。

○中核園として同じ地域にある各保育  
施設と連携・情報共有を行っていま  
す。

## 【平面図】



# 西荻北保育園の概要②

【保育室】



【遊戯室】



【園庭(東側)】



【園庭(南側)】



# 地域包括支援センター(ケア24)とは

地域包括支援センター(ケア24) = 高齢者等の**総合相談窓口**

※保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等の保健・福祉の専門職が、相談対応しています。

## 01 地域包括支援センター(ケア24)の主な業務

### 総合相談・権利擁護

- 高齢者又はご家族からの相談対応  
(介護や認知症のこと等)
- 高齢者虐待への対応  
成年後見制度の活用促進等
- プライバシーに配慮した相談支援

### ケアプラン作成

介護保険の認定(要支援1・2)を受けた方のサービス計画を作成

### 地域づくり

高齢者が安心して暮らし続けられる地域となるよう、様々な機関と連携・協働による取組を推進

### 地域のケアマネジャーの支援

地域のケアマネジャーからの相談対応・支援

## 02 区内の設置状況

- 区内20か所に設置  
※おおよそ高齢者人口5,000人から7,500人の区域を担当
- 職員数:各所7人程度
- 受付時間:平日9時~19時  
土 9時~13時  
※いずれも祝日は除く  
※電話相談は24時間受付

## 03 主な利用者層

- 高齢者及び家族
- 地域の高齢者の様子が気になった方
- ケアマネジャー
- 地域づくり関係者・団体

# 地域包括支援センター(ケア24)上荻の概要

## 04 担当区域の状況

- 今 川3丁目・4丁目
- 桃 井3丁目・4丁目
- 上 荻2丁目・3丁目・4丁目
- 西荻北1丁目・2丁目

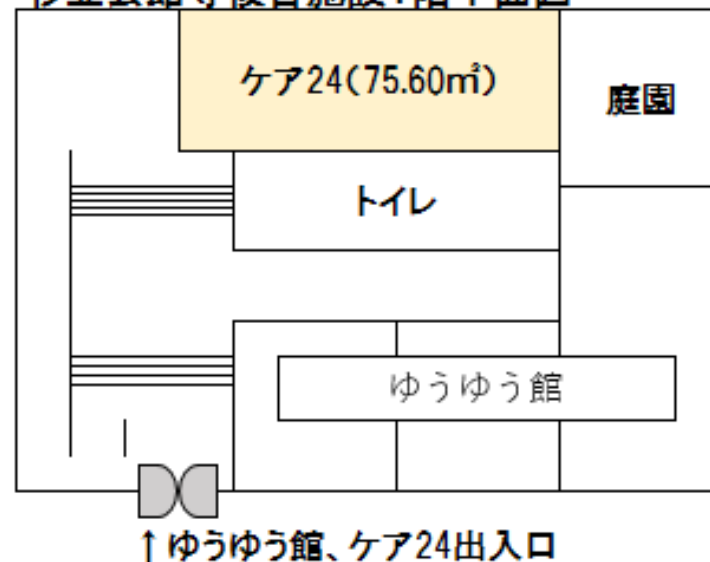
※区域内人口(令和6(2024年)年4月1日時点)  
→29,160人(内、高齢者人口6,267人)

## 05 地域包括支援センター(ケア24)上荻 施設情報

現 杉並会館(築57年)内の1階に設置(使用面積…75.60㎡)  
況 ※令和5年(2023年)1月から暫定移転中(移転前は、ゆうゆう上荻窪館1階に設置)



杉並会館等複合施設1階平面図



# 「コミュニティふらっと」とは

『乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設』

集会室などの貸室は、町会・自治会の活動や、文化や趣味等のグループ活動に利用できるほか、講座や多世代交流イベントへの参加を通じて、身近な地域における世代を超えた交流や、コミュニティづくりができます。

ラウンジは、予約なしに誰でも利用することができるスペースです。地域の方々のちょっとした打合せはもちろん、読書や勉強、飲食しながらおしゃべりなど、様々な利用ができます。

コミュニティふらっと(標準規模)のイメージ



施設の規模に応じて、地域の発表会や多世代交流イベントなどに活用できるよう、集会室よりも広さのある多目的室を設置します。

ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に高齢者団体優先枠を設け、一般利用者等とのタイムシェアをしていきます。

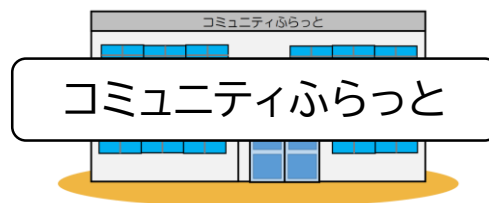
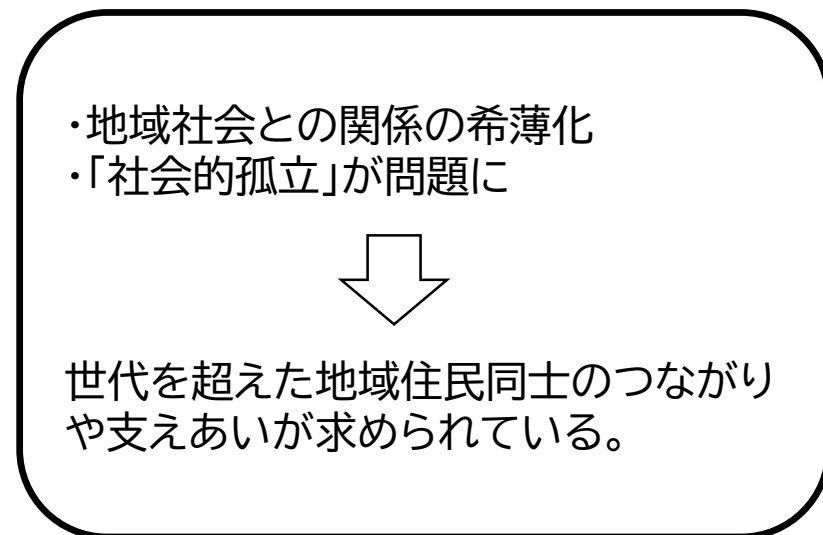
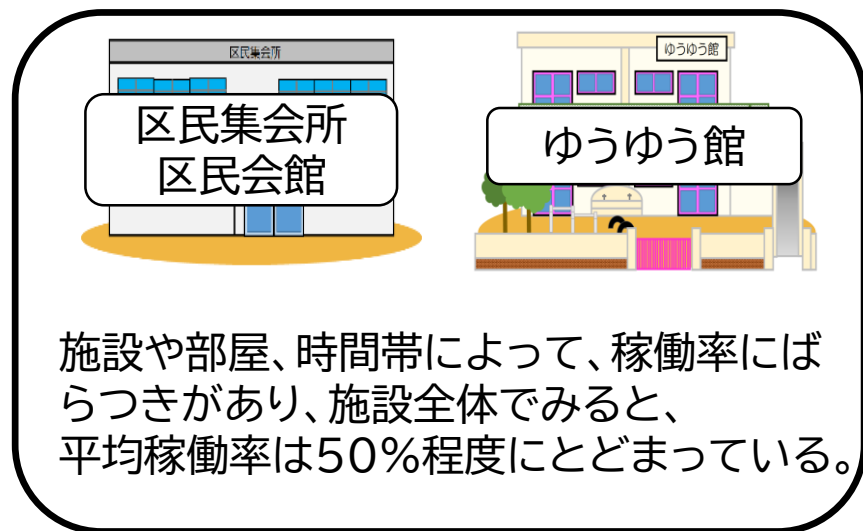
受付窓口では、高齢者への声掛けや日常の相談なども行い、地域の皆さんとゆるやかにつながる施設とします。

近隣に子ども・子育てプラザ等がない地域では、乳幼児親子が予約なしに気軽に利用できるスペースである乳幼児室を設置します。



# コミュニティふらっとの設置に至った経緯

○区立施設再編整備計画に基づく区民集会所やゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編



施設の有効活用や世代を超えた地域住民同士のつながりを促進する観点から、新たな地域コミュニティ施設である「コミュニティふらっと」へと再編整備する取組を進めてきた。

※現在までに、阿佐谷、東原、馬橋、永福、成田、方南の6施設を開設。

今後、新たに2施設が開設する予定。

# コミュニティふらっと館内の様子(ラウンジ)

## ○ラウンジの一例



グループでの歓談などで利用  
できるよう丸テーブルを用意

個人での利用ができるよう、カウ  
ンター席を用意



# コミュニティふらっとで実施するイベント等

施設の設置目的を達成するため、地域の団体や公共施設、住民の方などとも協力し、講座やサロン、おまつり(多世代交流イベント)を実施している。

## ○多世代交流イベントの様子



# コミュニティふらっとで実施している講座の例

事業名	内容
ヨガ講座(夜間講座)	仕事帰りの方も参加できるヨガ
東原Pタイム	学校帰りにふらっと遊べる子どもたちの居場所
目からうろこのリトミック子育て講座	親子リトミック・子育ての不安などを解消するプログラム
寺子屋「学ぼう」	現役大学生などが中学生の学びを支援
ふらっと阿佐谷*美術講座	美術評論家による講座
ゆうゆうフラ	生演奏にあわせて踊るフラダンス



# ゆうゆう館からコミュニティふらっとへの機能継承①

「高齢者団体優先枠」とは・・・

- ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に「高齢者団体優先枠」を設け、一般利用者に先駆けて申し込みができる仕組みとしている。
- 1団体当たり月に8枠(一体使用の場合は2枠という扱い)までは使用料を免除。  
 なお、「高齢者団体優先枠」を振らない部屋・時間帯も設けることにより、一般利用者とのタイムシェアを図っている。

高齢者団体優先枠のイメージ

	午前 (9時～12時)	延長	午後1 (13時～15時)	延長	午後2 (16時～18時)	延長	夜間 (19時～21時)
部屋A	優先枠		優先枠		優先枠		優先枠
部屋B	優先枠		優先枠		優先枠		
部屋C							
部屋D							

埋まらなかった枠は、一般利用者の枠になります。

このほか、「高齢者団体優先枠」の申込等は施設の窓口で受け付けることや、半期ごとに抽選申込を行うことなど、ゆうゆう館の運用方法を一部引き継いでいる。

# ゆうゆう館からコミュニティふらっとへの機能継承②

○ゆうゆう館からコミュニティふらっとへ移行した団体数

施設名	団体数	移行した団体数	割合
ゆうゆう阿佐谷館 →コミュニティふらっと阿佐谷	105	92	87.6%
ゆうゆう阿佐谷北館 →コミュニティふらっと東原	30	27	90.0%
ゆうゆう馬橋館 →コミュニティふらっと馬橋	25	25	100%
ゆうゆう浜田山館 →コミュニティふらっと成田	29	18	62.1%
ゆうゆう方南館 →コミュニティふらっと方南	27	26	96.3%
合計	216	188	87.0%

○移行しなかった主な理由

- ・コミュニティふらっとが利用していたゆうゆう館より遠くなった
- ・団体のメンバーの高齢化等により、このまま活動することが難しくなっていたので、これを機会に活動をやめた
- ・コミュニティふらっとの部屋がゆうゆう館より狭くなり、活動できなくなった など

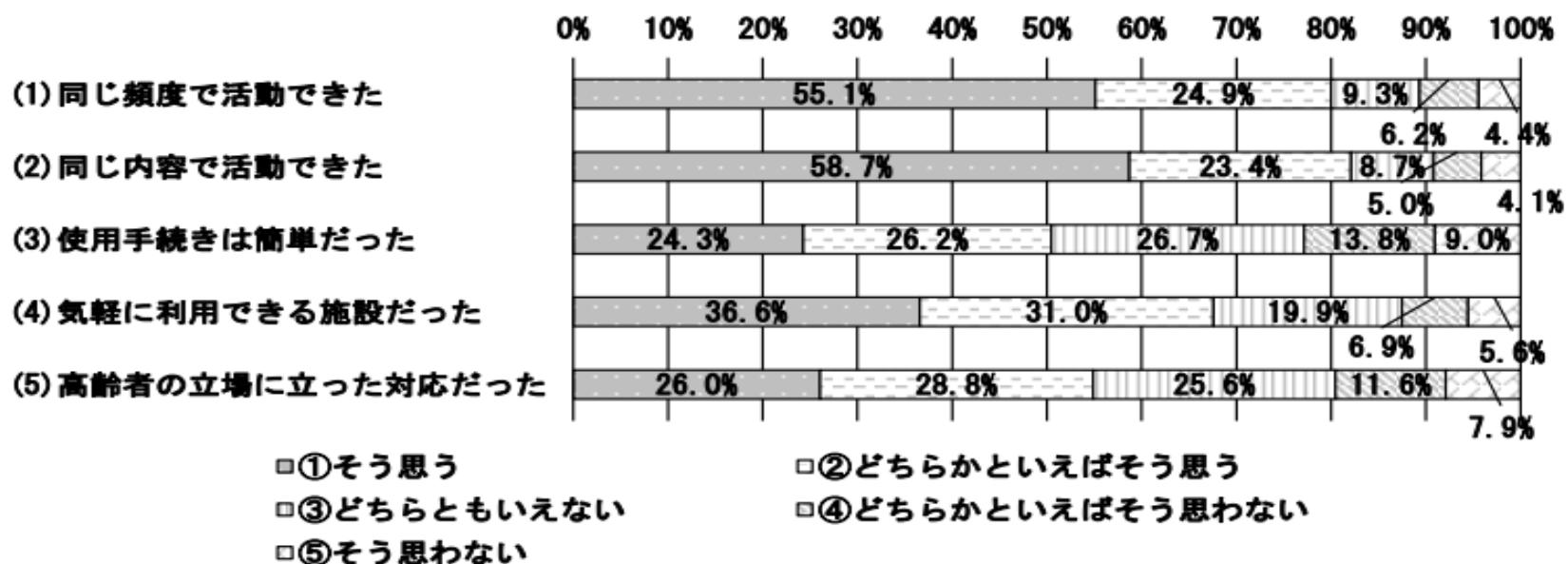
# コミュニティふらっと利用者の声①

## ○コミュニティふらっと利用者アンケートの実施

対象	コミュニティふらっと利用者のうち、コミュニティふらっとを利用する前にゆうゆう館を利用していた高齢者団体の所属者
調査期間	令和5年3月8日～3月31日
回答者数	289人

ゆうゆう館から「コミュニティふらっと」へ活動拠点が移ることについて、「ゆうゆう館と同じ頻度・内容で活動できるのか」、「使用の手続きは簡単に行えるのか」、「今までどおり気軽に利用できるのか」などの不安を感じる利用者が多かった。

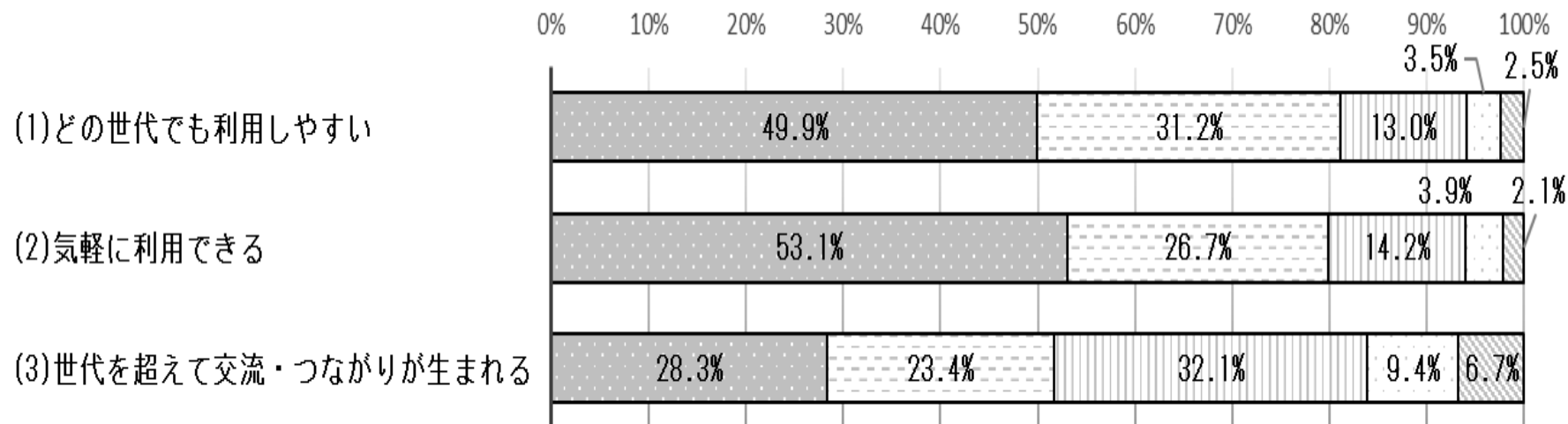
⇒実際にコミュニティふらっとへ移行した後、どのように感じたか・・・？



# コミュニティふらっと利用者の声②

対象	コミュニティふらっと利用者(高齢者団体所属者含む。)
調査期間	令和5年3月8日～3月31日
回答者数	626人

【問】「コミュニティふらっと」は、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる施設、として運営しています。(1)～(3)の各項目についてどのように思うか選択してください。(各項目1つずつ選択)



□ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらともいえない □ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない



# 対象施設の利用者 との意見交換

---

# ゆうゆう西荻北館利用者との意見交換会

- 西荻北保育園を現在の敷地で改築する場合、保育園の延べ床面積が増加するため、ゆうゆう西荻北館は現在と同規模の面積を確保することが難しくなります。
- これまで区では、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を可能な限り現地で確保するために、改築後の西荻北保育園に集会施設を併設するなどの検討を進めてきました。
- この検討にあたって、ゆうゆう西荻北館の利用者の方と意見交換会を開催し、以下のような意見をいただきました。

何とかして現在の場所に活動場所を確保してほしい。

若い方(保育園)の送り迎えは自転車で移動もできるし、遠くても良いのではないかと。高齢者は増えているし、大切にしてほしい。

併設する保育園とコミュニケーションをとれる機会があるなど、現在の配置が良い。

活動場所の距離が離れてしまうと、高齢者は活動を維持できない。

場所がどちらになっても、可能な限り現在の活動を維持したい。

2部屋設ける案が限界のようなので、その案を受け入れるしかないと思う。ただ、活動の状況を踏まえて音を出す団体と静かな活動をする団体が一緒に活動できるような工夫をしていただきたい。

ゆうゆう館がいいと思うが、コミふらのような世代間の交流が生まれる施設もこれから先重要だと思う。

西荻地域区民センターもラウンジがあるが、若い人に占領されている。コミふらもそうなるのでは。ゆうゆう館が良い。

記載の意見以外にも様々な意見をいただきました。